

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 飛騨市公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
濃飛乗合自動車(株)	神原線 【運行区間】 ①濃飛バス神岡営業所～寺林公民館～柏原パーキング～飛騨古川駅 ②割石温泉～寺林公民館～柏原パーキング～飛騨古川駅 ③濃飛バス神岡営業所～神岡小学校～柏原パーキング	【前回の事業評価結果】 それぞれの地域によって実情やニーズが異なる中、課題を整理・分析し、引き続き関係者と連携しながら課題の解決のため各種施策を進められることを期待します。  【反映状況】 随時、乗込調査・聞取調査を実施し、利用状況や利用者の声の把握に努めた。	A 事業が計画に基づき、適切に実施された。	A 【目標】 ・利用客数:1,500人 ・収支率 :6.38%以上※対象路線全体  【結果】 ・利用客数:2,333人(前年2,275人) ・収支率 :全体6.12%(前年6.99%) ※路線単体3.0%(前年2.8%)  ●利用客数【達成】 ・前年比102.5%と増加しており、神岡町から古川町への利用者等の増加によるものであると考えられる。 ●収支率【達成】 利用者増加に伴い、路線単体の収入額も前年比107.1%で増加した。	運行開始以降、年々利用者が増加している状況であり、本路線は特に様々な目的で利用されるようになってきているため、利用状況調査を引き続き実施し、状況把握するとともに、定期的な情報発信と利用促進事業を実施していく。

<p>濃飛乗合自動車㈱</p>	<p>吉田線 【運行区間】 ①濃飛バス神岡営業所～飛驒市民病院～飛驒神岡高校～流葉スキー場 ②濃飛バス神岡営業所～飛驒市民病院～飛驒神岡高校～吉田精米所前 ③割石温泉～濃飛バス神岡営業所</p>	<p>【前回の事業評価結果】 それぞれの地域によって実情やニーズが異なる中、課題を整理・分析し、引き続き関係者と連携しながら課題の解決のため各種施策を進められることを期待します。</p> <p>【反映状況】 随時、乗込調査・聞取調査を実施し、利用状況や利用者の声の把握に努めた。</p>	<p>A 事業が計画に基づき、適切に実施された。</p>	<p>B 【目標】 ・利用客数：5,500人 ・収支率：6.38%以上※対象路線全体</p> <p>【結果】 ・利用客数：5,860人(前年5,477人) ・収支率：全体6.12%(前年6.99%) ※路線単体3.9%(前年4.7%)</p> <p>●利用客数【達成】 利用者は前年度比106.9%と増加し、目標値を達成した。</p> <p>●収支率【未達成】 利用者は増加の一方で、運行経費の増加により収支率は減少となった。</p>	<p>年間利用者数が増加し、達成することができた。本路線は、飛驒神岡高校を經由する路線であり、高校生の通学利用も一定数あるため、高校とのワークショップを実施し、高校生の声を取り入れた路線維持に努め、継続して利用促進、情報発信を実施していく。</p>
<p>飛驒市</p>	<p>かみおか循環線 系統2 【運行区間】 神岡振興事務所～旧奥飛驒温泉口～濃飛バス神岡営業所～割石温泉～神岡振興事務所</p>	<p>【前回の事業評価結果】 それぞれの地域によって実情やニーズが異なる中、課題を整理・分析し、引き続き関係者と連携しながら課題の解決のため各種施策を進められることを期待します。</p> <p>【反映状況】 随時、乗込調査・聞取調査を実施し、利用状況や利用者の声の把握に努めた。</p>	<p>A 事業が計画に基づき、適切に実施された。</p>	<p>B 【目標】 ・利用客数：10,000人 ・収支率：6.38%以上※対象路線全体</p> <p>【結果】 ・利用客数：11,761人(前年10,885人) ・収支率：全体6.12%(前年6.99%) ※路線単体16.0%(前年17.4%)</p> <p>●利用客数【達成】 前年に引き続き利用者数が増加し続けており、前年比108.0%という結果になった。</p> <p>●収支率【未達成】 定期券、回数券の按分の見直しにより収支率低下という結果になった。</p>	<p>本路線は、市内を運行する市営路線の中で最も利用者の多い路線であり、R5の路線見直しにより、利用者数が増加し続け、昨年に引き続いて過去最高を更新した。神岡町内全体のバス利用者数は近年増加傾向にあり、この水準を維持できるよう利用状況調査を引き続き実施し、状況に応じた取組を実施していく。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	飛騨市公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>飛騨市は岐阜県最北端に位置し、北は富山県、南は高山市に接し、市内及び富山市、高山市が日常の生活圏となっている。面積792.53km<sup>2</sup>、人口21,749人(R6.12.1現在)、高齢化率40.05%と広大な市域において人口減少及び高齢化が進んでおり、高齢者等でも利用しやすく、かつ、市内及び市外への生活の移動に利用することのできる地域公共交通を維持確保していくことが重要課題である。</p> <p>飛騨市公共交通網形成計画策定時(H27.3 25,855人)と比較し、約12.8%の人口減である。</p> <p>地域公共交通の利用者数は、網形成計画策定初年度から比較すると次年度以降は増加し、その後は平成30年度を境に減少傾向にあったが、網形成計画及び再編実施計画に伴う事業実施により、路線、利用環境等が整備されて地域に定着したことで一定の利用者を得られている。</p> <p>令和3年3月に網形成計画の後継計画である飛騨市地域公共交通計画を策定し、それまでの路線網では非効率な部分や、地域住民のニーズに合わない部分が散見されたことから通学や通院・買物移動のサービス水準は担保しつつ、「持続可能なサービスの確保・充実」「成長する地域公共交通サービス」「まちづくりへの寄与、上位計画との整合性」を方針として維持・改善を進めることとしている。</p> <p>令和5年10月に地域住民との意見交換会での意見やバス利用者への聞き取り調査による声を可能な限り反映し、神岡町市街地内のバス路線を大きく見直し利便性を向上させた。その結果、前年比104%と増加につながった。以降も利用者は伸び続けており、令和7年度には対象システムのいずれも利用者増加という成果を挙げている。</p> <p>今後、利用者となる市内人口が減少していく中、地域住民・利用者のニーズを幅広く聴取したうえで、そのニーズに対応できる路線へと見直ししていく必要がある。また、これまで利用されなかった市民や市外からの来訪者など、地域公共交通を維持確保していくことに対する市民の理解や市内外への利用促進を強化していくことがである。</p>